

ふるさと わがまち わが地域

弥栄町 鳥取地区

作成日 平成28年2月12日



公民館：京丹後市弥栄町鳥取2120番地
電話：0772-65-2043 (FAX兼用)



地区概況

世帯数156、人口484人
(平成27年12月末日現在)



鳥取地区の特徴

竹野川より西岸の「あしぎぬ顕彰碑」「丹後王国食のみやこ」のある地区です。

鳥取公民館は区有林の売却によって昭和36年に建設された。本館とは別棟の大ホールをもち、前には大駐車場を兼ねた広場を備え、一集落の公民館としては最大規模の施設です。各種団体グループ活動の拠点でもあります。米の減反による転作品目の1つとして栽培される「はと麦」を穀物のまま出荷するよりも加工し付加価値を高めて販売しようと区の直営工場として昭和58年スタート。爆発的な売れ行きではなかったが、地元へも一定の経済効果をもたらしていました。現在も建物は残っています。

国営農地開発事業は、弥栄町の先発団地として昭和61年に始まった岡替地区周辺一帯に、畑9町歩、田6町歩の広大な農地を造成され、西瓜、メロン、甘藷、大かぶ、大根等を栽培しています。



あしぎぬ苑

鳥取集落の東側の丘に「あしぎぬ苑」という小さな公園がありますが、昭和43年(1968年)「絶(あしぎぬ)の碑」が建てられ、それから毎年顕彰祭が行われています。

「絶」というのは絹織物のことで、奈良の正倉院に納められた品物の一部に「丹後国竹野郡鳥取郷門田里 車部(くるまべ)鯨(いさな)調貢絶一疋六丈 天平11年(739年)と、納めた人の住所と名前が墨で書かれています。



天武(てんぷ)神社境内に「あしぎぬ苑」の標識があります。



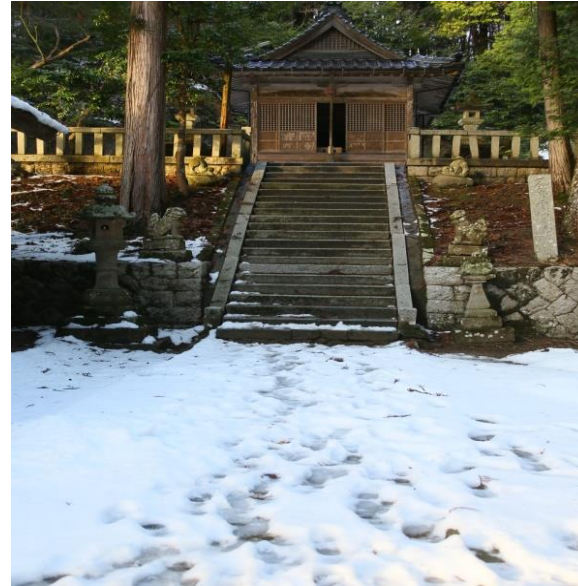
天武(てんぷ)神社

鳥取の「いわれ」

「和名抄」では竹野郡鳥取郷とある。

物を言わぬ、垂仁天皇の皇子である誉津別皇子(ほむつわけのみこ)のために鳥を追って出雲まで行った。天湯河板拳(あまのゆがわたな)が、但馬の国を経由して丹後へやってきて、この鳥取の地でやっと捕まえたことからついた地名と伝承がある。天湯河板拳(あまのゆがわたな)は鳥取造(とっとりみやつこ)や鳥取連(とっとりむくろじ)の祖とされる。鳥取郷も鳥取造に仕える部民が移住してきた所であろうか。 「京丹後の伝承・方言」より

明治維新になって久美浜県豊岡県を経て、京都府所管となりしばしば区域の変更等があったが、明治17年7月鳥取・木橋・和田野の3村が連合村となって戸長制度の行政が始められ、同22年4月町村制施行により、この連合村が鳥取村となり、旧鳥取小学校下側に役場を設置した。昭和8年2月1日合併して弥栄村となり消滅した。と記述されています。



吉田神社

建立不詳

(1704年)再建の棟札がある

大川神社 祭神 宇気母智神(うけもちのかみ)

厳島神社 祭神 市杵島姫命(いけしまひめのみこと)



寿宝山長命寺

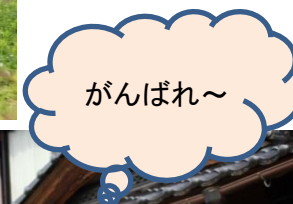
本尊 阿弥陀如来

宝永元年(1704年)開山は宮津市

曹洞宗智源寺 十三世定山和尚

毎年12月初旬に、「大根炊き」が行われ多くの参拝者にふるまわれます。





秋祭り 太鼓神輿と子供神輿



世代間交流事業

小学生や高齢者が参加し福祉委員さんにお世話になります。

8月 カレー作りと、グラウンドゴルフ
11月 そば打ち





丹後王国食のみやこオープン

丹後王国食のみやこは、名称を変更し平成27年4月にリニューアルオープンしました。



主要地方道網野岩滝線鳥取木橋バイパス開通

集落内の交通緩和と、快適な道路網の整備を目的に進めてきたバイパスが、平成24年3月に供用開始され、当区の西側道路が整備されました。



鳥取公民館

参考文献
弥栄町史
時を越えて
京丹後市の歴史
京丹後の伝承・方言